

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市江坂町3丁目計画	階数	地上10F
建設地	吹田市江坂町3丁目410番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	126 人
気候区分	6地域	年間使用時間	126 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年3月29日
敷地面積	994 m <sup>2</sup>	作成者	森田俊和
建築面積	551 m <sup>2</sup>	確認日	2016年3月29日
延床面積	3,855 m <sup>2</sup>	確認者	林 友紀



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 110% (50.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 110% (50.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 110% (50.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

音環境	2.6
温熱環境	1.9
光・視環境	3.0
空気質環境	2.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.5
耐用性	2.9
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.3**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 1.8

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.5

地球温暖化	2.2
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	優れたデザイン性、良質な空間、最新の設備仕様を取り込み環境に配慮した建物とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q3 室外環境(敷地内) 都会に相応しいスタイリッシュなデザインとした
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 特になし
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0050

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)吹田市江坂町3丁目計画				
		建設地	吹田市江坂町3丁目410番1				
		用途/区分	集合住宅				
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
	CO2削減	★★★★★			2		
	省エネ対策	★★★★★			2		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			2.2	2	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	1.0	2	
				住戸・宿泊	1.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			0.9		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							